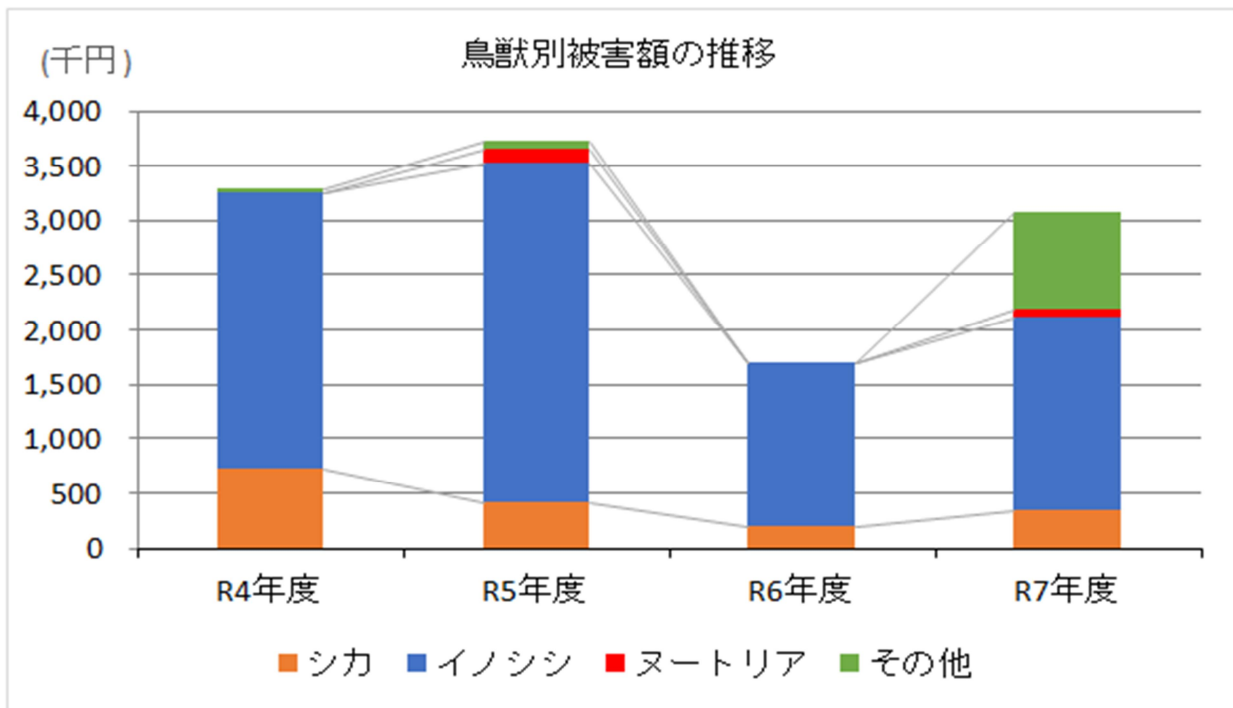


有害鳥獣の被害及び捕獲状況等について

令和7年度における本市の有害鳥獣による被害及び捕獲状況等について、その推移を含め報告します。

1. 鳥獣別被害額

令和6年度は減少したが、令和7年度は一部被害の拡大により増加した。



●R7年度その他：カモによる麦の食害（古志地区）

（単位：千円）

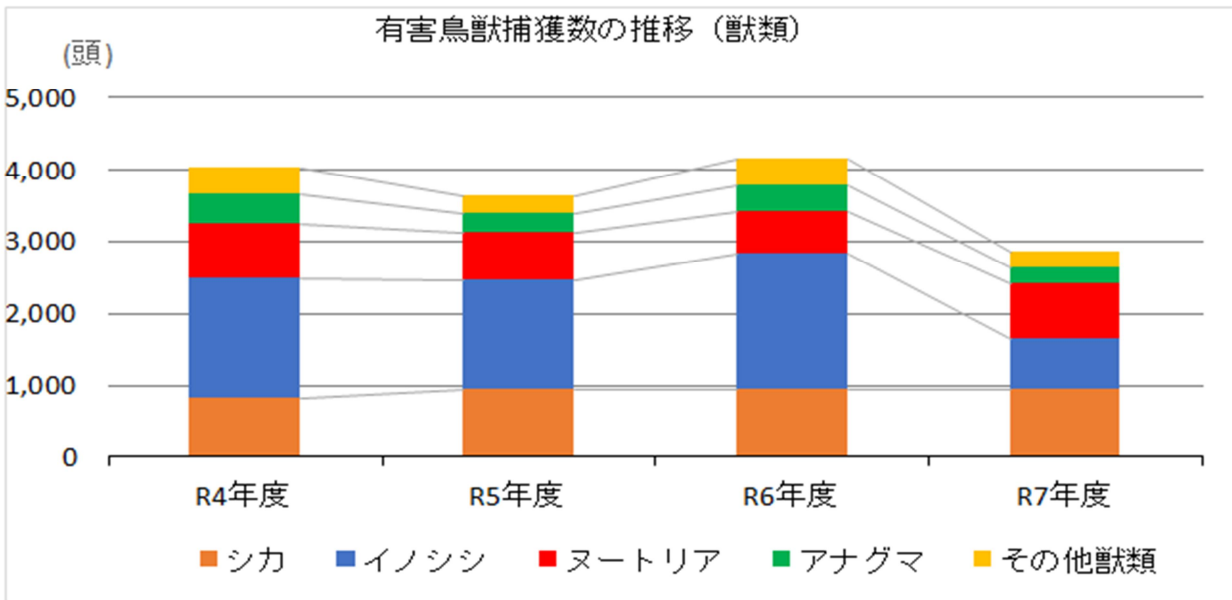
種 別	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
シカ	708	412	189	336
イノシシ	2,545	3,111	1,502	1,775
ヌートリア	0	131	0	68
その他	26	62	0	892
合計	3,279	3,716	1,691	3,071

●出典：島根県農業共済組合及びシカ被害対策巡視員被害状況調査

2. 有害鳥獣捕獲数

出雲市有害鳥獣捕獲班（令和7年度末現在：24班、214名）による捕獲活動が継続的に行われており、イノシシを除く捕獲数は、概ね横ばいで推移している。

イノシシについては、豚熱の影響等で個体数が減少したと推測され、それに伴い捕獲数も減少したと考えられる。



（単位：頭、羽）

種 別		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
獣 類	シカ				
	出雲北山山系	786	885	892	871
	中国山地（市南部）	42	52	55	63
	合 計	828	937	947	934
	イノシシ	1,645	1,524	1,885	727
	ヌートリア	755	659	585	736
	アナグマ	422	253	370	220
	その他獣類	362	254	360	228
鳥 類	カラス	1,212	1,122	1,081	696
	スズメ	211	455	325	505
	その他鳥類	42	151	35	51

●その他獣類：サル、タヌキ、ハクビシン、イタチ、テン、アライグマ等

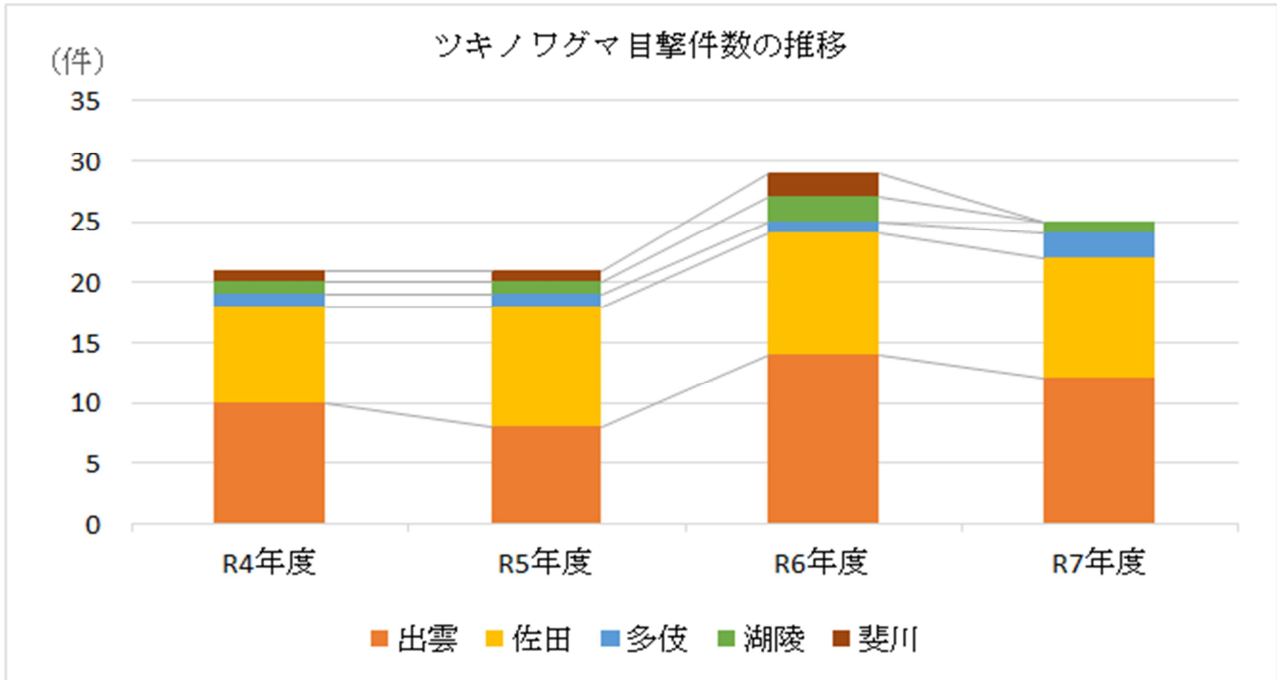
●その他鳥類：オオバン、カモ等

3. ツキノワグマ及びニホンザルの目撃件数並びに被害状況

【ツキノワグマ】

(1) 目撃件数

過去3年間は、概ね20～30件程度で推移しており、令和7年度についても同水準であった。



年 度	合 計	地 域 (単位：件)						
		出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川
R4年度	21	10	0	8	1	1	0	1
R5年度	21	8	0	10	1	1	0	1
R6年度	29	14	0	10	1	2	0	2
R7年度	25	12	0	10	2	1	0	0

※北山山系（大社及び平田地域）では、クマの生息は確認されていません。

(2) 主な被害状況

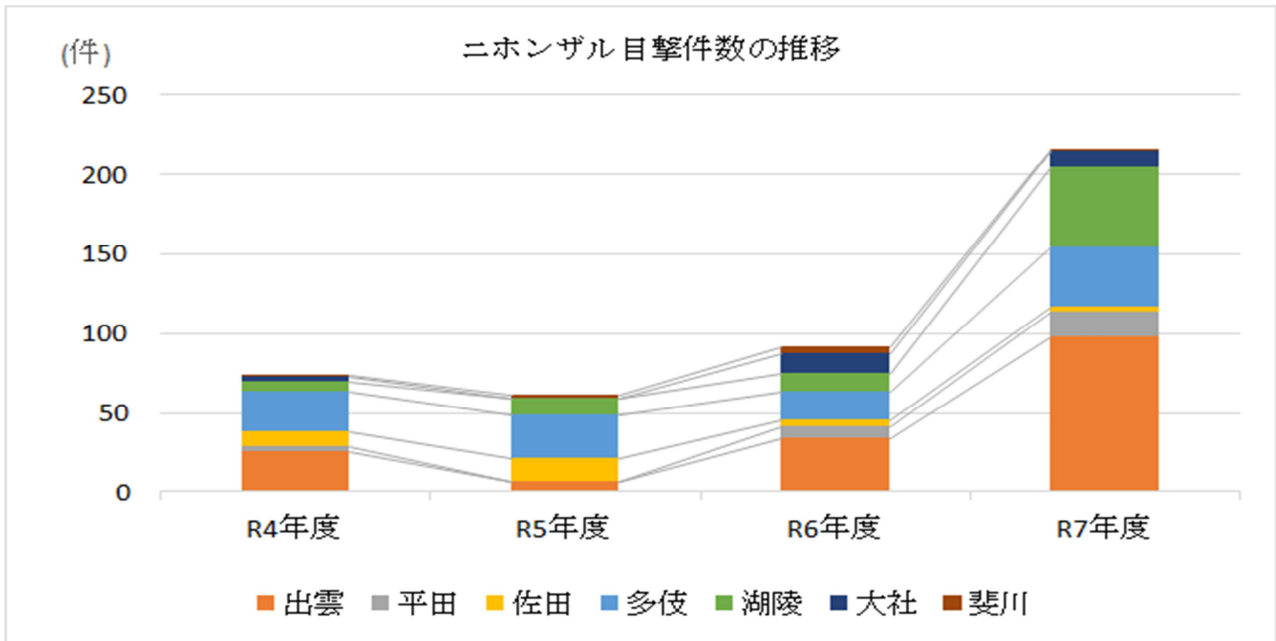
農作物等の被害	朝山地区の養蜂場で、養蜂箱内の蜂蜜を食べられる被害が、約1週間にわたり、継続的に発生した。また、佐田地域で柿の枝の折損及び実の食害が確認された。
人身被害	なし

【ニホンザル】

(1) 目撃件数等

朝山、稗原地区などで、ハナレザルが令和7年4月頃から頻繁に集落へ出没したことにより、目撃件数が増加したが、令和7年12月と令和8年2月に、捕獲班により2頭を駆除した結果、当該ハナレザルに係る目撃通報は収束した。

また、多伎地域の群れの一部が、令和7年5月頃から湖陵地域へ移動したものと考えられ、その影響により、湖陵地域における目撃件数が増加した。



年 度	合 計	地 域 (単位：件)						
		出雲	平田	佐田	多伎	湖陵	大社	斐川
R4年度	73	26	3	9	25	6	3	1
R5年度	61	7	0	14	27	11	0	2
R6年度	91	34	7	4	18	12	12	4
R7年度	※ 215	98	15	3	38	50	10	1

※内訳：群れ53件、ハナレザル162件

※ハナレザル：群れから離れて単独で行動するサル。

(2) 主な被害状況

農作物等の被害	農作物等の食害のほか、民家の網戸や樋等の破損、車両の損傷などの被害が発生した。
人身被害	なし